

# みかえり 第210号

一 いち  
蓮 れん  
托 たく  
生 しょう



私が死ぬとき

一番泣いてくれるのは

やはり 家内であろうか

榎 本 栄 一

近頃の豪華だが無内容な結婚式・披露宴  
に出席する度に「一蓮托生」と云う言葉が、  
もはや死語になってしまったとしみじみ思う。  
昔の夫婦の対話に「愛」とか「恋」はなかった。  
例え思っても口にするのではなく、む  
しろすげなかつた。けれど「一蓮托生」。  
死なば浄土の蓮のうてなに半坐を別ちあ  
つて生れることを秘かに念じる。  
なんと素晴らしいことではないだろうか。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長森 準玄親王下のご染筆です。前号の色紙は、京都市下京区在住 野崎敏男様に贈呈いたしました。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。毎月末、切一名に進呈。

人にん中ちゆう天てん上じようの快け楽らくは夢む中ちゆう

にして幻まぼろしの如ごとし

(西山上人・『五段鈔』厭穢欣淨)

欣きん求きゆう  
淨じやう土ど

総本山 禅林寺 法主 永観堂  
  


「身みに泌しみて 形かた見み衿あわれの 袖そで通とおす」(杉村彩雨)  
 親しい人が亡くなり、その形見に衿の着物を頂き、袖を通してみた。その着物を着た人はすでになく、おそらく同年輩の自分がそれに袖を通している。そして、いつか自分もこの衿の着物の中から姿を消していくのだろうと、つくづく身に泌みて感じた、という意味の俳句です。

この世のことどもはすべて幻であり、夢の中のできごとのようにはないことなのです。某日、冬の早い落日を眺めていたら、ひとひと孤独を感じました。私を愛し、育ててくれた父母はすでになく、また私が愛し育てた子供たちも成長して、親元を巣立っていつてしまった。この世のことは、すべて幻のよう、しかもアツという間に過ぎ去ってしまった。その時その時には何よりも大切に思えたものが、全て流れ去っていくのです。

消え去っていくものに拘るのではなく、永遠に輝きを失わないものを探し求めていきたいものです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長森 準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、高知県安芸市在住 寺尾重喜様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。毎月末、切一名に進呈。

諸仏如来はこれ法界の身なり

一切衆生の心想の中に入り給う

— 観 經 —

## 仏の御手

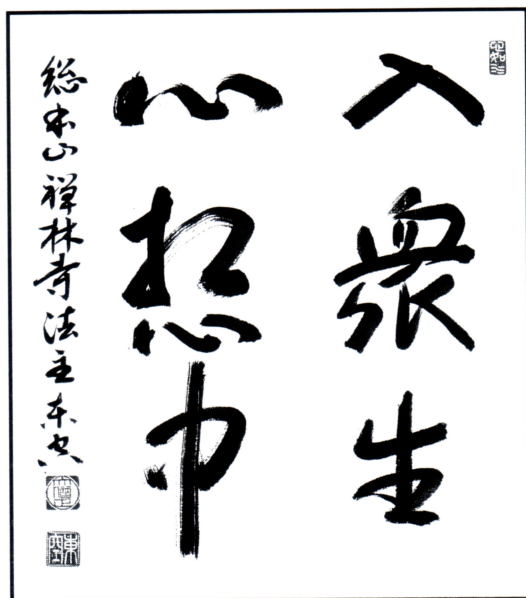
最近誰かと手を握り合ったことがありますか。

幼な児と手を握りましょう。その小さい掌から大きな希望が、力が伝わってきます。母親の手を握りましょう。いつのまにかあなたより小さく、細くなってしまうその手から、しわしわのその掌から、あなたを包む大きな慈しみが伝わってきます。

手を結び合いましょう。いがみ合ってた相手からも、あなたと同じ暖かさが伝わってきます。

人の掌は寒い日の暖炉よりもあったかい。

総本山 永観堂 禅林寺



右の色紙は管長森 準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、岐阜市在住 加藤五郎様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。毎月末メ切一名に進呈。

信じてもお信ずべきは

必得往生の文なり

法然上人『一紙小消息』

思えば、

嘘をついたこともある。

意地悪いったこともある。

騙したこともある。

こんな、俺でいいのかい？

そういえば、

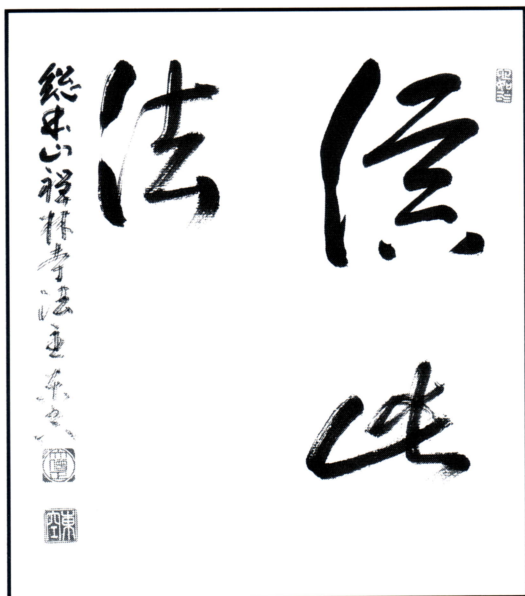
女房には苦労かけたな。

親には何にもしてやれなかったな。

仏様には掌を合わせたこともなかった。

こんな、俺でも本当にいいのかい？

総本山 永観堂 禅林寺



右の色紙は管長森 準玄猊下のご染筆です。前号の色紙は、兵庫県飾磨郡在住 市村峯子様に贈呈いたします。  
ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい 毎月末〆切一名に進呈。



信は莊嚴しょうごんより生ず

信 對  
福 東

総本山 禅林寺 法主 永観堂

安らぎは 仏を念じ  
合掌礼拝する中にある

ある結婚式でのこと。新婦の花嫁衣装は六十年前に祖母が、三十年前には母も着た三代に渡って着継がれた衣装だったのです。祖母も、母親も幸せな結婚生活だったのでしょう。その幸せを娘に、孫娘にと願って、思い出の晴れ着を大切に引き継がれてきたのです。この家庭のしつかりした考えと、温かい家族関係が見えるようで、ほのぼのと心を打つものがあります。

いつの時代も、親から子へ、孫へと伝えていかねばならぬもの。それは正しい信仰心とお念仏。

仏壇を莊嚴し、仏さまを拝む家庭には安らぎがあります。

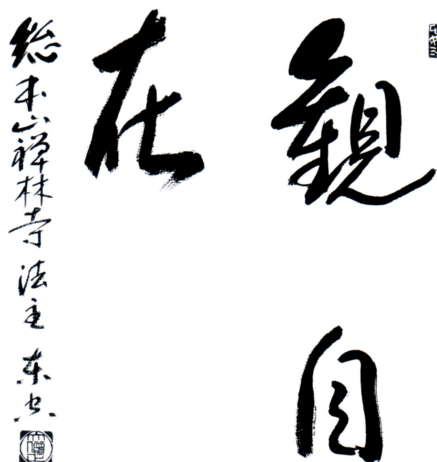
総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は菅長森 準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、愛知県西加茂郡在住 伊藤やえ子様へ贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。毎月末、切一名に進呈。

## 観自在菩薩行深

## 般若波羅蜜多

般若心経



「見<sup>けん</sup>の眼<sup>がん</sup>と観<sup>かん</sup>の眼<sup>がん</sup>」がある。「見の眼」は目で見る。

「観の眼」は心の眼で見、現象の背後にひそむ事物の本質を見きわめる。

最近では、どこの保育園・幼稚園の行事でも、若い父親の参加が多くなった。誰もがカメラ・ビデオを首にさげて、わが子の晴姿を写したり、右に左にと大変である。園や学校のことは母親まかせという時代ではなくなったのは喜ぶべきである。

しかし、本当のわが子の姿を見詰めているのであろうか。そこに見えるのは、レンズを通して見た、被写体としてのわが子ではないか。「ガンバレー」とわれを忘れて叫んだり、卒園証書を受け取るわが子に、涙するお父さんは少なくなった。

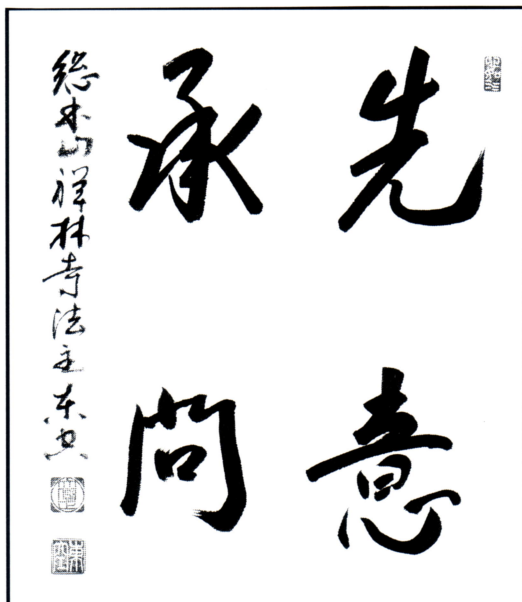
“一億総カメラマン化”は、じっと見詰めてありのまゝを正しくつかむ“観の眼”を奪ってしまった。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長森 準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、京都市北区在住 西村キヨ子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。毎月末メー切一名に進呈。

## 和 顔 愛 語 先 意 承 問

無量寿経



### 相手の立場に立とう

国立競技場のあるトレーナーの方から、こんなことを教えていただきました。

深呼吸は、体にとってもいいんです。毎日、寝る前にでも、何回かする習慣をつけると、内臓の働きが良くなります。ストレスもたまりません。

ただ、深呼吸というのは、いきなりたくさん吸い込もうと思ってもダメです。まず、息をはくのです。はいてしまえば、息は自然と入ってきますから……

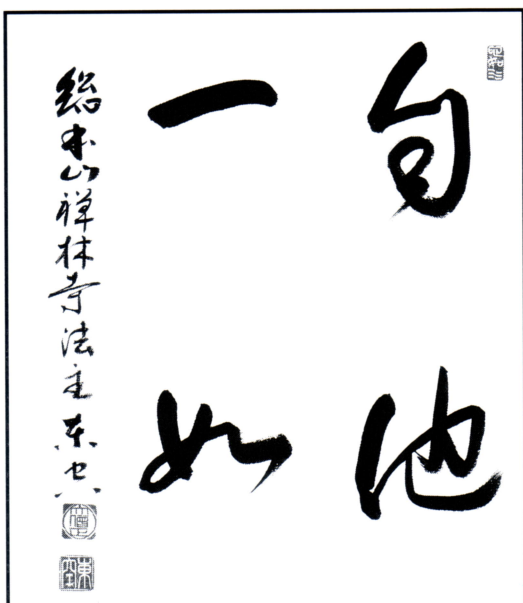
なるほど、深呼吸は、“すって、はく”ものではなく、“はいて、すう”ものだったんですね。

そうだ。まずしてあげればいいんだ。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長森 準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、姫路市大塩町在住 熊野澄子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。毎月末メー切一名に進呈。

### 自他一如



苦を同じくすることが  
人間愛の根本である

阪神大震災で親を亡くした遺児たちの作文集がある。タイトルは「とってもくやしい」。

▼「お母さんはじしんのおかげで死んでしまった。泣きまくった。今でもくやしい。『お母さんを返せ』とさげびたい気持ちがずーっとまだ残っている」(小五、女子)

▼「時々、お父さんと弟のひろあきが夢に出てきます。……ぼくは、お父さんとひろあきの分、生きたいと思っています」(中一、男子)

製作したのは「あしなが育英会」。交通事故故や災害で親を亡くした遺児たちが、現地でボランティア活動しながら集めた作文を編集したもの。悲しい体験をした人こそ、相手に、より優しくなれる。人生の苦悩を味わった人ほど、生命の尊さを知っている。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は菅長森 準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、岐阜市在住 江崎 宏様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい 毎月末、切一名に進呈。



忍辱は怨みに勝ち  
至誠は欺わりに勝つ

— 出曜経 —

忍辱 至誠

総本山 禅林寺 法主 永観堂



父と子が山に登った。途中に大木の切り株が並んでいた。父は切り株を指して、子にこう教えた。

「年輪のしんは、どの切り株も同じように北側に寄っているだろう。南風と太陽をいっぱいを受けた南側は、豊かに成長する。だが、北風を受け、日にあたらない中で生きる北側は、寒さから身を守るために戦う。だから年輪の幅が小さく、しんがその方に寄っていくんだ。」

伐採され材木になる時、太陽をいっぱい受けた南側は『板』になる。が、北風を受けて育った、しんの寄った部分は、角材として『柱』になる。柱は家を支える。

逆境に生きた人間も同じだよ。板にはなれないが、柱になれる。

人間、苦勞は無駄じゃない。」

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長森 準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、広島市在住 橋本 清様に贈呈いたします。

ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。毎月末メ切一名に進呈。

果報は業に依りて感ず  
かほう ごう よ かん

西山上人『五段鈔』

諸法皆見

因縁生

総本山禅林寺法主 永観堂



我がよきで人がわるきと思うなよ

人がわるきは わがわるきなり

ある寺のお参りで、説教師さんがこの歌を引いて、他人の行いばかりを攻めなさいで自分をよく懺悔するようにと諭されました。「よき」は「良き」と「小斧」をかけてあり、「わるき」は「悪き」と「割木」にかけてあることは、お気づきですね。

ところが、半分居眠りをして聞いていた一人のお婆さんが、家に帰ると、隣の家の軒下に積んである薪を、せっせと自分の家の納屋に運び込んだのだそうです。「人が割り木は我が割り木なり」とつぶやきながら……。お婆さんは、居眠りをして、歌の後半しか聞いてなかったようです。

総本山 永観堂 禅林寺

身を端くして  
ただし

行ないを正しくす  
ただ

〔無量寿経〕

端身  
正身  
総本山 禅林寺法主 永観堂 禅林寺

もちつ もたれつ

結婚披露宴の最後には、花嫁の言葉が披露されることが多い。みんな、それぞれの思いを手紙にしたためている。

その中で、こんなようなことを語った花嫁がいた。

「私たちの愛は永遠だとは言えませんが、今日誓った愛が、永遠であって欲しいけれど、永遠だなんてカッコ良すぎて言えませんが、この世だけでなく、私たちそれぞれの命が終わった後でも、お互いを信じ合おうという努力は欠かさないようにと誓いました。

そうです。これからの絶え間ない努力を、夫婦で築き上げていくことだけが、私たちを育ててくれた両親と、そして今日参列してくださった皆さんと、そして私たちを育ててくださったあらゆる生命への、恩返しだと思います」。

一時の感情におぼれるのではなく、自らの人生を、あらゆる生命の中に見いだした二人は、輝いて見えた。

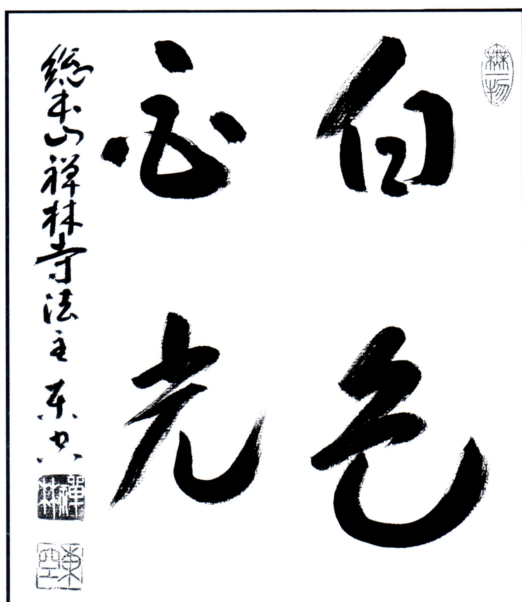
総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長森 準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、金沢市在住 島村久仁子様へ贈呈いたします。

ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい 毎月末メ切一名に進呈。

赤色赤光

白色白光



## 鬼の耳はなぜ長い

鬼はある時考えました。どうしてこんなにも耳が長く、足が速いのだろう。そこで耳が小さく、のろまな亀とかけっこをすることにしたのです。

はてさて、鬼は亀を見えなくなるほど引き離れた頃、その長い耳に、大きな驚が空から亀を狙っている羽音が聞こえてきました。鬼はそれを聞くやいなやその速い足で、亀を助けに戻ったのです。

その時わかったのです。長い耳は、どんなに遠くからでも、自分を誉めはやす言葉を聞く為でもなく、速い足も自分だけ逃げる為のものではないことを。

人はそれぞれ、力も性格も違います。それは決して我を張るためのものではありません。身を捨ててまで他を救う菩薩の力として持っているのです。

終末山 永観堂 禅林寺